

# 高等学校における 学力保障に向けた取り組み

---

NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net) 事務局長  
神奈川県立橋本高等学校 教諭 高橋 清樹

2016年3月7日  
学校における外国人児童生徒等に対する教育支援に関する有識者会議(第4回)

# 1. 神奈川県の高校入試制度

在県外国人等特別募集(滞日3年以内)  
(10校で募集定員119名)

海外帰国生徒特別募集(海外で2年以上)  
(6校で募集定員70名)

一般受検での特例措置  
(滞日6年以内)

- ・ふりがな付き問題
- ・時間延長
- ・別室受検

定員内不  
合格禁止



県教委とNPOとの協働事業

- ・高校入試の説明会
- ・多言語ガイドブック

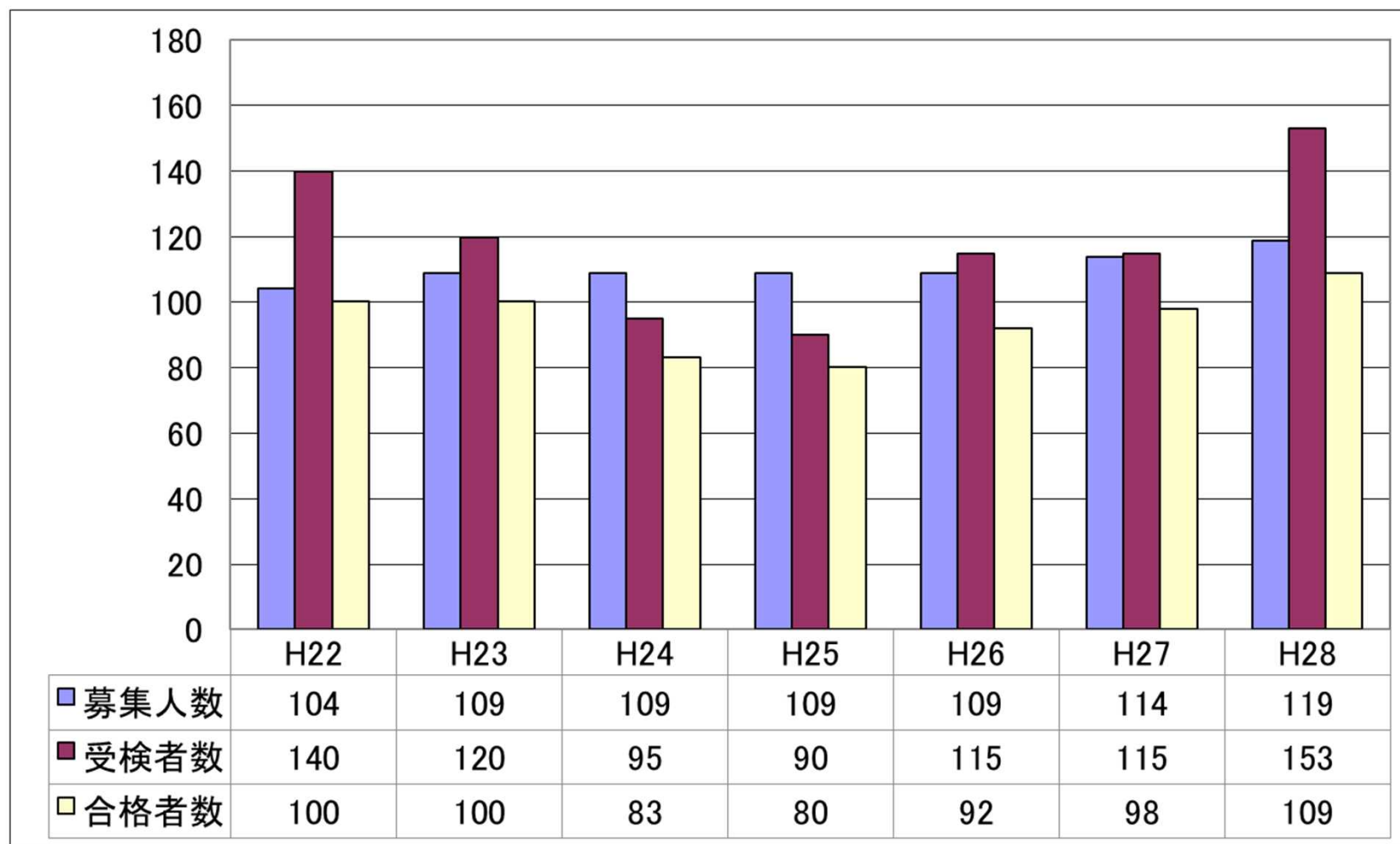
公立高校の在籍者数  
外国人生徒1,412名+α 平成27年度基本調査

高校で日本語指導が必要な外国籍生徒数**405名**  
平成26年文部科学省調べ

# 神奈川県の高校入試の特徴

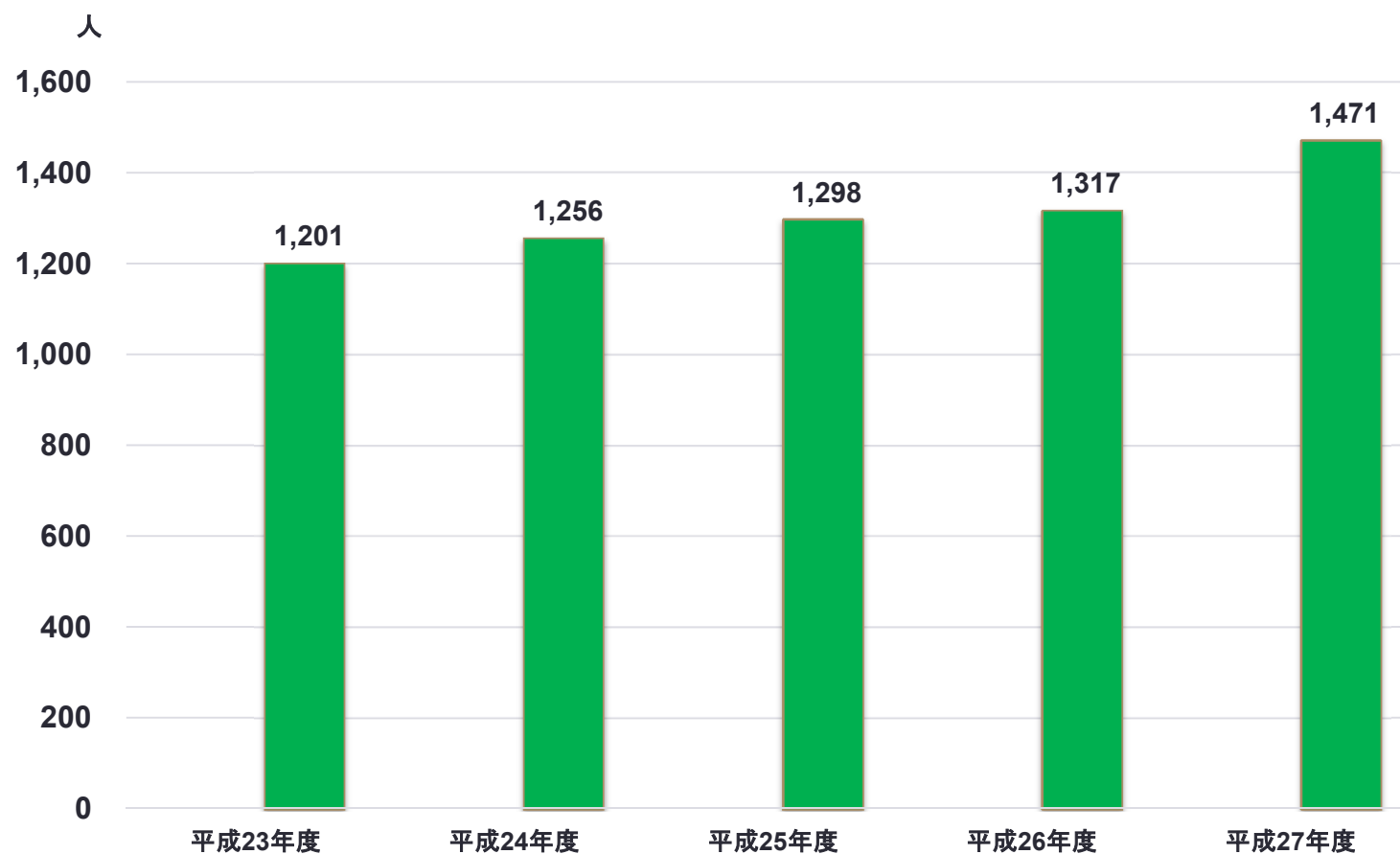
- **在県外国人等特別募集枠の設置(以下「在県枠」)**
  - 滞日年数が通算で3年以内(就学前期間を除く)
  - 外国籍を有する又は日本籍を取って3年以内
  - 募集定員がはっきりしている。(2016年度入試は119名)
  - 原則「**定員内不合格の禁止**」・・・一般枠も特別枠も同様  
ハンディキャップがあっても原則受け入る  
(ノーマライゼーションの考えにより、20年ほど前から実施)
- **入学者選抜試験の配慮**
  - ルビ付きの問題、面接時の配慮(日本語をゆっくり話す)、時間延長

## 「在県外国人等特別募集の受検状況」

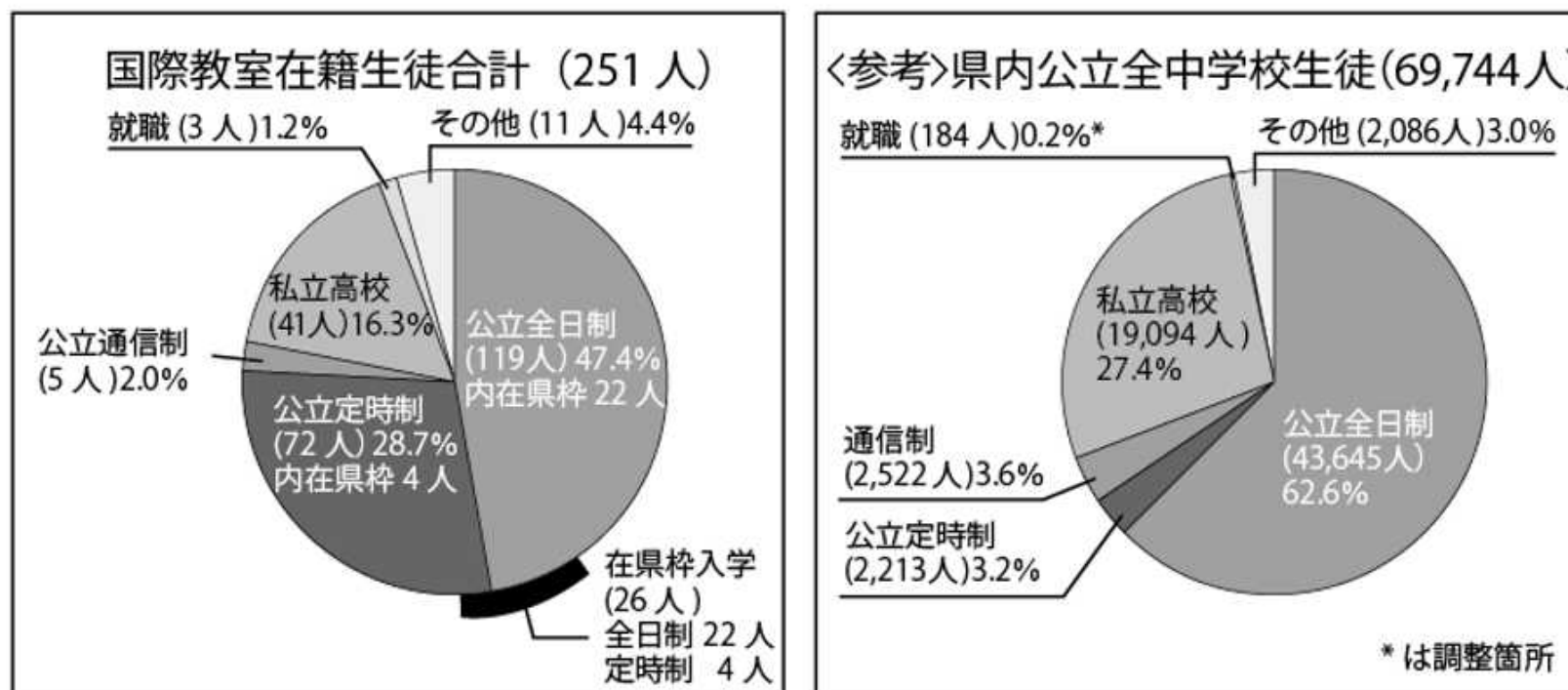


## 公私立高校(全日制・定時制) 外国人生徒数の推移

(神奈川県教委学校基本調査より)



## 神奈川県内の国際教室卒業生の進路状況



2015年(平成27年)3月の卒業生(回答率100%)  
 かながわ国際交流財団作成資料

## 2. 高校入学後の支援

外国人生徒への授業支援

外国人生徒への授業以外の  
支援

日本人生徒とのかかわり

学校外での支援

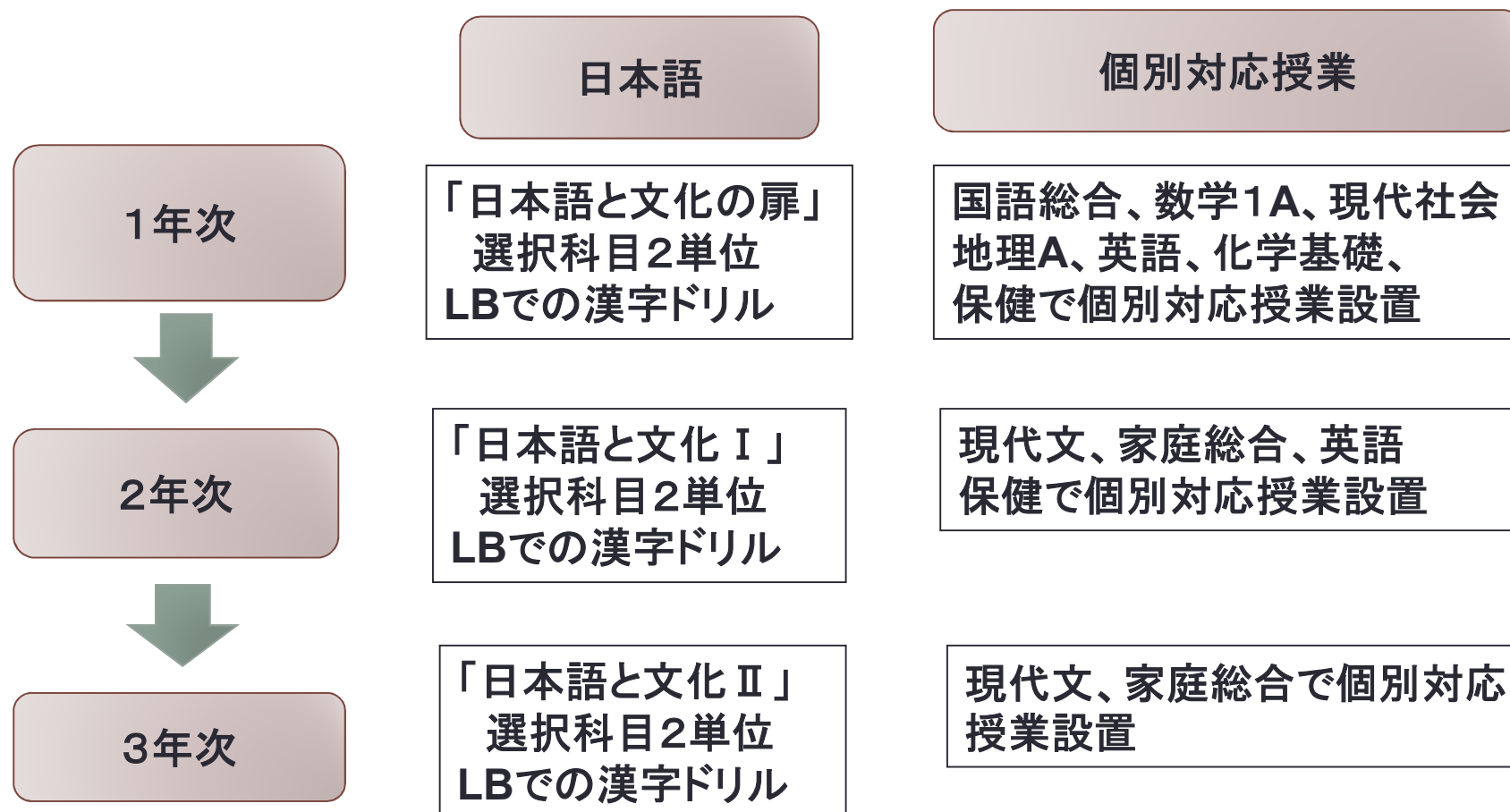
## 外国人生徒への授業支援

- ・日本語学習の授業設置  
在県枠10校や外国人生徒の多い高校で設置されている。  
「国語」の授業とは別に設置
- ・個別対応授業の設置  
1年次を中心に体育、芸術、情報以外の科目  
生徒によっては、一般クラスの授業へ。プレイスメントテスト等を実施して、個別に判断。  
年度途中でも生徒によっては一般クラスへ。
- ・教科指導での取り組み  
日本語教育を意識した、わかる授業へ



# 相模原青陵高校の授業支援の状況

2014年度の実施状況



## 教科指導での取り組み (JSLカリキュラム)

教材の工夫



自主教材プリント

- ・漢字にふりがな
- ・内容を大づかみに理解させる
- ・教科の内容に関する言葉と日本語語彙理解の区別
- ・視覚的な図やイラストの利用

授業での工夫



- ・対話や問いかけにより生徒の発話を促す  
自国の文化や知識、文化の違い...
- ・グループ学習の活用  
聞き取り調査、語彙調べ...
- ・ディクテーションの活用



公開授業、研究会・研修会の実施

## 高校が主催するセミナー

## 学校関係者と地域の支援者の集まる場

### 第9回 CEMLAセミナー

外国につながる生徒たちとともに

相模原青陵高等学校 外国につながる生徒の教育支援事業CEMLA(多文化学習活動センター)主催

分科会A

読む力を育てる日本語指導

～絵本から新聞まで～

分科会B

日本語指導につながる教科指導

～効果的な個別対応授業とは～



分科会C

進路を阻むビザのトラブル

～英語につながる生徒の学習記録と学習記録～

分科会D

在県外国人等特別難民の生徒達

～卒業生が語る助かったこと・困ったこと～

**日時:** 2015年8月24日(月) 13:00～15:30

**場所:** 相模原青陵高等学校 (相武台前駅から徒歩25分)

第9回CEMLAセミナー参加申込書 (FAXまたは電子メールで送信してください。)

参加者名		所属 (連絡先)	電話またはメールアドレス
希望分科会 (1つに○)	A B C D	選択	必要あり ( ) 必要なし ( )

FAX送信先: 042(740)2848 電子メール: yossy22@pen-kanagawa.ed.jp

## 外国人生徒への授業以外の支援

- ・在籍把握による支援対象者への働きかけ  
生徒カード等への記載(国籍、本名把握、保護者対応の必要性)
- ・通訳支援制度  
神奈川県教育委員会高校教育課実施事業  
保護者面談、学校説明会、合格者説明会の通訳(年に10～30件)  
NPO法人が通訳を紹介する
- ・翻訳資料の作成  
就学支援金、奨学給付金、入学の手引き、保健室での対応表...
- ・多文化教育コーディネーターの派遣  
神奈川県教育委員会高校教育課とME-netの協働事業

# 多文化教育コーディネーター派遣の仕組み

どこへ？

- 16校(在県枠9校、定時制4校、通信制1校、クリエイティブスクール2校)

予算は？

- 県から1校当たり25万円(年50回)
- ME-netからも

何をする？

- 高校と協議して決める
- 放課後の補習教室(日本語・母語)、キャリア支援、イベントサポートなど

どんな人？

- 母語話者、地域の支援者、教育に関わっていた人、高校進学ガイダンスでつながった人

県との連携は？

- コーディネーター会議に県担当者参加(年5回程度)
- 県主催の高校との事業報告会(年2回)

## 日本人生徒とのかかわり

### ・多文化共生教育の推進

日本人生徒から積極的にかかわる取り組みが重要  
例) 相模原青陵高校での「多文化共生」科目の設置

座間総合高校での「国際フェスタ」の実施

「国際理解講座」の実施

母語授業の設置と日本人生徒の参加



複数校で  
実施

相模原青陵高校HPより  
多文化共生科目「日本語と文化  
の扉」選択者が外国人生徒か  
らの聞き取り調査に基づいた多  
文化共生のあり方を研究発表  
したもの

11月8日（日）に行われた第49回国際理解発表大会において、  
本校の「日本語と文化の扉」受講生徒5名が優秀賞を受賞しました。  
5名はいずれも1年次生です。これからますますの活躍を期待しています！



## 神奈川県立座間総合高校の「国際フェスタ」(全校生徒による学校行事)

2014年 11月20日(木) —国際フェスタ2014 ZAMASOGO EXBITION @ハーモニーホール  
座間—

国際コミュニケーション系列等の授業の成果を発表したり、母語以外の言語を用いた異文化理解につながるプレゼンを行いました。

なお、この模様がTVK（テレビ神奈川）により平成26年12月5日に放映されました。



「千手観音」中国語選択者



「眠れる森の美女」フランス語選択者



「私の国のダンスとハーブ」スペイン語選択者



「Frozen」音楽選択者

## 学校外での支援

- ・学習支援の場(県内に約60カ所のボランティア教室...多くは小中対象)  
**多文化学習活動センター(CEMLA) ...ME-net事業**  
高校の協働による中学生以降の子ども・若者の支援の場  
大学生ボランティアによる日本語学習や教育相談
- ・キャリア支援...ME-net事業  
大学、専門学校、職場への見学相談会の実施
- ・若者交流...ME-net事業  
高校生の交流会、キャンプ、フェスティバルの実施



# 多文化学習活動センター(CEMLA)

場所: 相模原市の相模女子大学の構内  
活動日: 毎週土曜日の10時~12時

運営: 文化庁の「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業の委託を受け、ME-netが運営  
日本語教室ほかに、人材育成の研修会の実施、  
日本語教材の作成を行っている。

参加: 地域の外国につながる子ども・若者(小中高生以上)と大学生ボランティアが参加。大学生ボランティアを指導する日本語指導者が5名。



2015年度は毎回40名以上の学習者、20名以上のボランティア・スタッフが参加！

## キャリア支援

## 保育園の体験 & 見学会



<ME-net>

NPO法人多文化共生教育ネッ

トワークかながわさんが新しい写真2枚を追加しました

作成者: Seiju Takahashi [?] · 8月20日 7:13 · 編集済み ·

昨日（8月19日）YMCAいずみ保育園（横浜市泉区）で、高校生向けの保育体験&説明会がありました。平塚湘風高校のコーディネーターの川崎さんからの報告です。

参加者はブラジル、ナイジェリア、ベトナム、カンボジアルーツの高校生女子4名でした。

生徒たちは0～2歳児に二人、年長に二人と分けていただき、運動や作業、プールなどのお手伝いを体験しました。多国籍の子どもたちがいました。4人ともすぐなじんで、楽しかったということでした。また、年長では言うことを聞かない子もいて、大変さも感じたようでした。... もっと見る



# 若者交流

若者たちが未来へのメッセージを発する場

にゆうじょうむりよう さんか  
**入場無料** だれでも参加できます(申し込みは いりません)

2016年3月26日(土)12:00~16:00

Alternative Voice Festival

## オルタ ボイス フェスタ

— がいこくにつながる子どもや若者たちの声 —

ないよう がいこく わかもの はっぴよう かつどうはっぴよう  
 内容: 外国につながる子どもたちや若者たちのグループのステージ発表や活動発表

ステージ発表(予定) : チャンゴ演奏・ダンス・スピーチ・音楽など



ヨコハマハギハッキョグループ NPO法人ABCジャパン  
 たぶんかフリースクールよこはま

あつせいなんこうこう ぶ しょうなんこうこう ていじ  
 厚木清南高校ダンス部、湘南高校(定時)

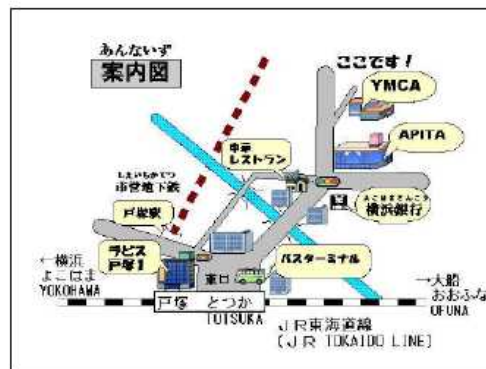
ゆうし ざ ま そうごうこうこう  
 有志グループ: ALEA, Lay@out, Hn's(座間総合高校)

そうごうさんぎょうこうこうていじせい どうこうかい  
 SHOCK MONKEYS(総合産業高校定時制ダンス同好会)

てんじ はんばい よてい  
 フロア展示・販売(予定): TIEトマトマの会・エスニックジャパン

ざいにちがいこくじんきょういせいかつそうだん しんあいじゆく  
 在日外国人教育生活相談センター信愛塾

ふじみ ちゅうがくこくさいきょうしつ  
 富士見中学国際教室OG・OB ほか



ばしょ しょうなん  
**場所: 湘南とつかYMCA**

よこはましとつかくみくらたちょう  
 横浜市戸塚区上倉田町769-24

とうかいどうせん とつか えき ひがしぐち と 徒歩 5分  
 JR東海道線戸塚駅東口から徒歩5分

しえいち かてつ とつか えき ひがしぐち と 徒歩 5分  
 市営地下鉄戸塚駅東口から徒歩5分

問い合わせ先 TEL: 045-864-4768

※ 駐車場はありません

主催: NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

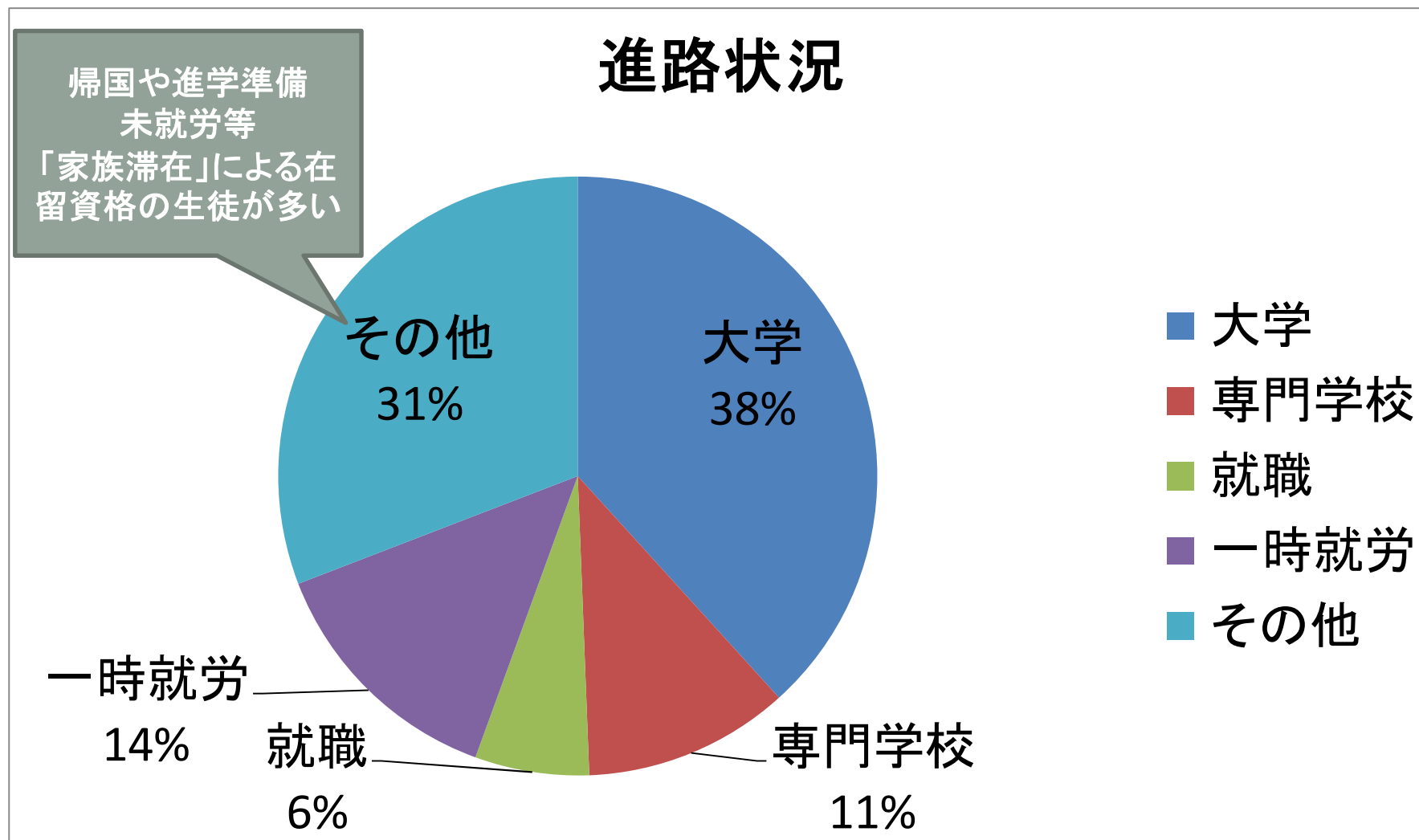
後援: 湘南とつかYMCA、戸塚区

神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

(公財) かながわ国際交流財団

(公財) 横浜市国際交流協会

神奈川県公立高校「在県外国人等特別募集枠」で入学した生徒の  
高校卒業時の進路状況  
(データ母数81名)



# 外国につながる子どもの自立と社会参加に向けたバイリンガル人材育成のための視点ーその1ー

## 小中学校～高校

### 1) 教員の意識改革

○日本語が出来ない大変な子→グローバル・バイリンガル人材としての捉え

### 2) 学校での多文化共生教育

○新しい多文化共生教育の試み

- ・総合的な学習等でのワークショップ授業
- ・市民教育としての多文化共生(マイノリティの市民)
- ・多様な言語での多様なコミュニケーション

# 学校教育の場で・・・

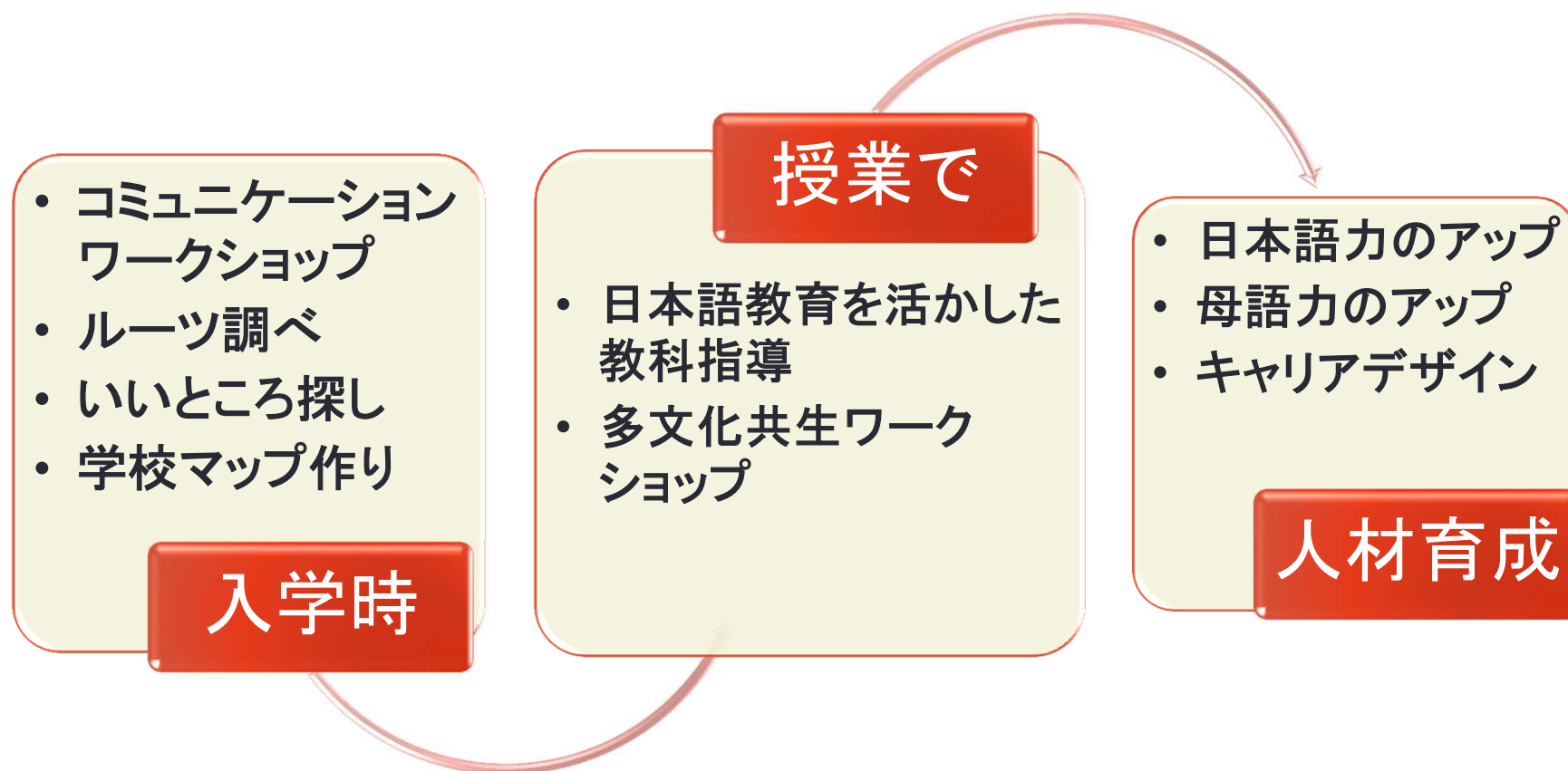
## 教育の目的と価値

・外国につながる子どもが  
いることで・・・  
自己主張が強い  
日本語や教科指導が大変  
日本人とうまく溶け込んで  
くれない  
⇒ **大変なことばかり**

・外国につながる子どもがい  
ることで・・・  
自分の意見をきちんと  
多様な言語や文化に接するこ  
とができる  
コミュニケーションが豊かに  
⇒ **面白いことばかり**

グローバル人材  
バイリンガル人材の育成

## 新たな取り組みとしての多文化共生教育



## 外国につながる子どもの自立と社会参加に向けたバイリンガル人材育成のための視点ーその2ー

### 高校～大学～社会参加

#### 3) 高校以降のバイリンガル教育

○留学生でない「定住外国人」の若者向けのバイリンガル教育

- ・日本語教育のレベルアップ(読解力・考察力→表現力)
- ・母語教育の充実(母語による専門教育の機会)

#### 4) キャリア支援の充実

○社会参加に向けたキャリア支援